



Slave 4  
Selling  
Femina









うっ  
これって

ああ  
一服もらせて  
もらった



だから君には  
プラモ部再建の  
手伝いをして  
貰うことにした

なぜ？  
決まっているだろう  
君たちがボクらから  
部員を奪ったからだよ

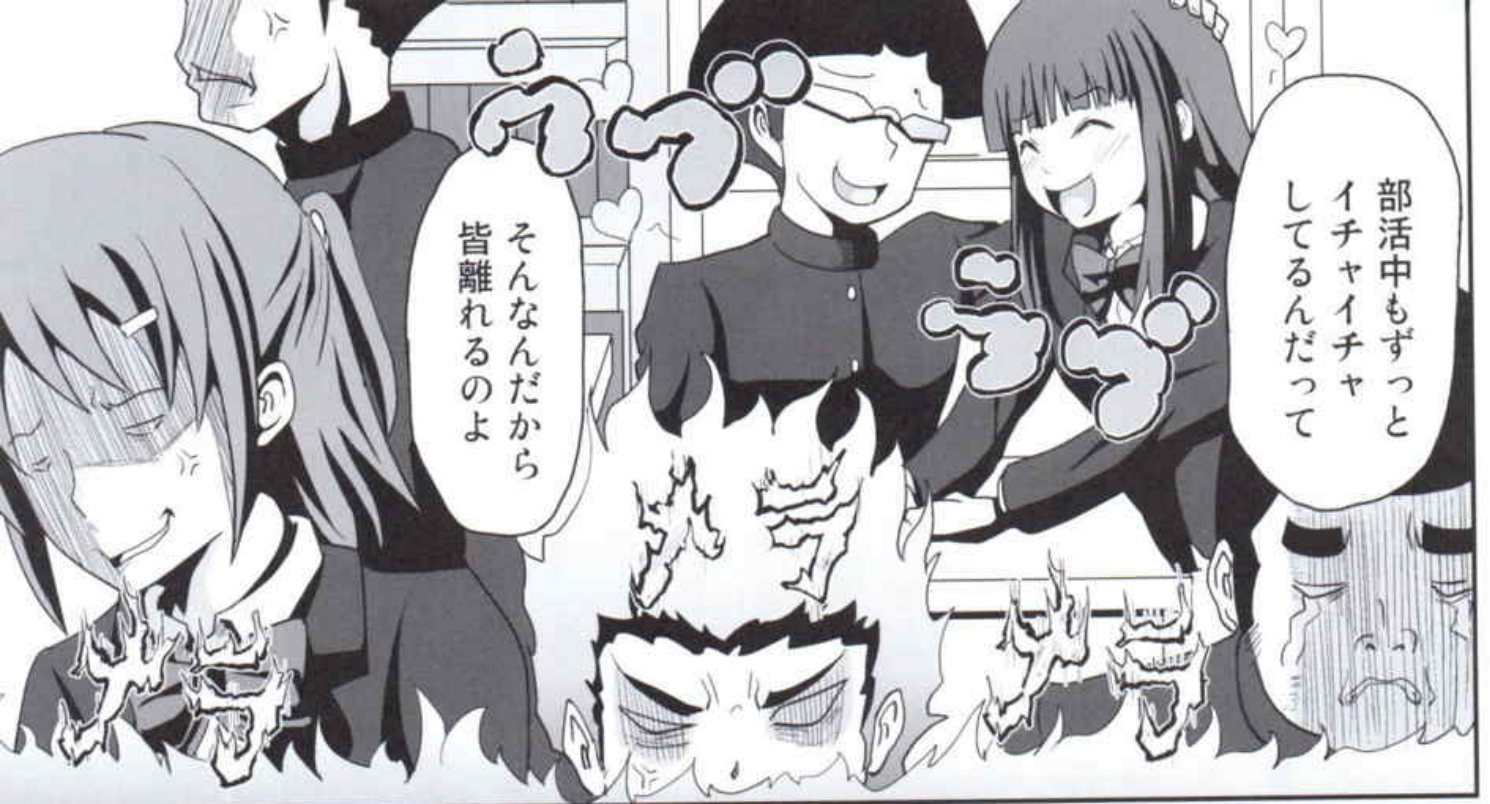


なんで  
こんなことを



あのね部員が  
離れたのは  
あんたらが  
悪いんでしょ





部活中もずっと  
イチャイチャ  
してらんだって

そんなんだから  
皆離れるのよ



嫉妬とは  
嫌なものだ

自分たちにお相手が  
いないからと見苦しい

とにかく  
私は次の試合が  
あるんだから  
もう帰るわ

まったくですわ

おっと  
そうは  
いかないよ



なにすんのよ

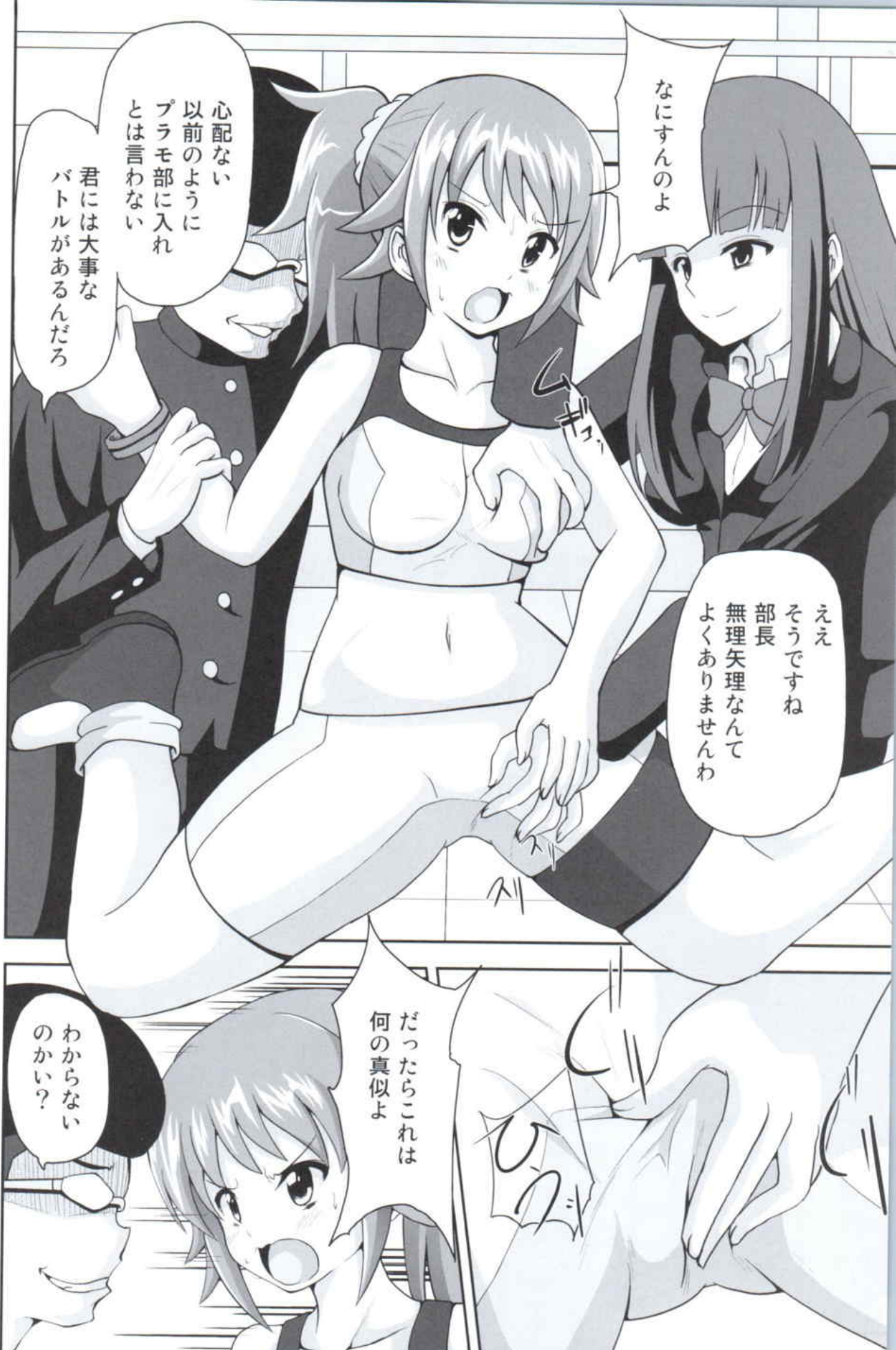
心配ない  
以前のように  
プラモ部に入れ  
とは言わない

君には大事な  
バトルがあるんだろ

ええ  
そうですね  
部長  
無理矢理なんて  
よくありませんわ

だったらこれは  
何の真似よ

わからない  
のかい？







さあマンコへの  
穴が開きましたよ



バカねえ

エリ君は優しいなあ  
わざわざ説明して  
あげようなんて

部長  
おバカなこの娘にも  
わかるように説明して  
あげましょう

優しいだなんて  
イヤですわ  
部長



いや



おおお  
これが  
フミナ君の  
生ンコか

見るなあッ  
変態

部長それもいいですが  
そろそろ教えて  
あげましょう



では物分りの悪い  
フミナ君に  
優しくレクチャー  
してあげよう

フミナさんには  
部員の勧誘を  
お願いしたいのん

ただのピラ配りなんて  
せこいものじゃない

胸もむなあ

胸触ンなツて  
言ッてんで  
しようツ

フミナ君の体を使った  
スペシャルな勧誘法だ

わんさか  
部員が集まるわ

ちよつと  
弄られた  
だけで簡単に  
ヌレヌレ  
になる淫乱女  
ですもの

ノリ





私は淫乱なんかじゃな  
いしそんないか  
わしいことしないわよ

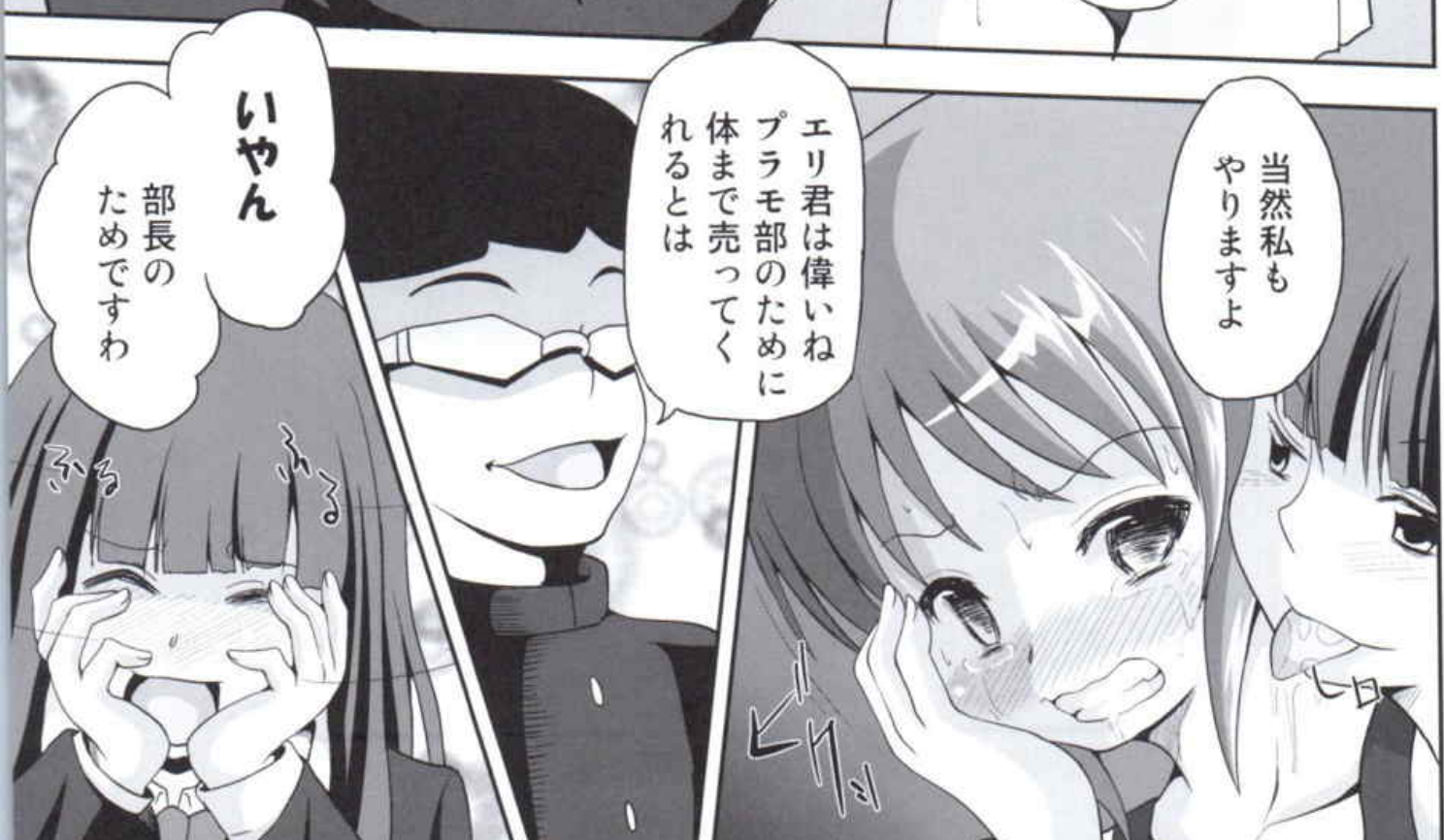
またまた  
冗談を  
おまたが

グシヨグシヨ  
のくせに

そんなに部員欲しい  
ならあんたが  
やればいいでしょう

こんなエロい格好を  
してゐるくせに

ほら



当然私も  
やりますよ

エリ君は偉いね  
プラモ部のために  
体まで売ってく  
れるとは

いやん

部長の  
ためですわ





先生たちに  
報告すらかからね

あんたら  
おかしいわよ  
付き合っ  
てらんない

離して



困りましたね  
部長



おやおやこれは  
困ったねエリ君



そうですね  
部長

やああッ  
離しなさいよ

まああ  
一日ゆっくり  
話合えば  
わかって  
貰えるだろう

しん



エリ君ねっとり  
優しくフミナ君に  
女の喜びを教えて  
あげよう

先生に言うわよ

はい  
部長

まずはこの閉じた  
穴を開きましょう

そしたら  
プラモ部は  
廃止よ



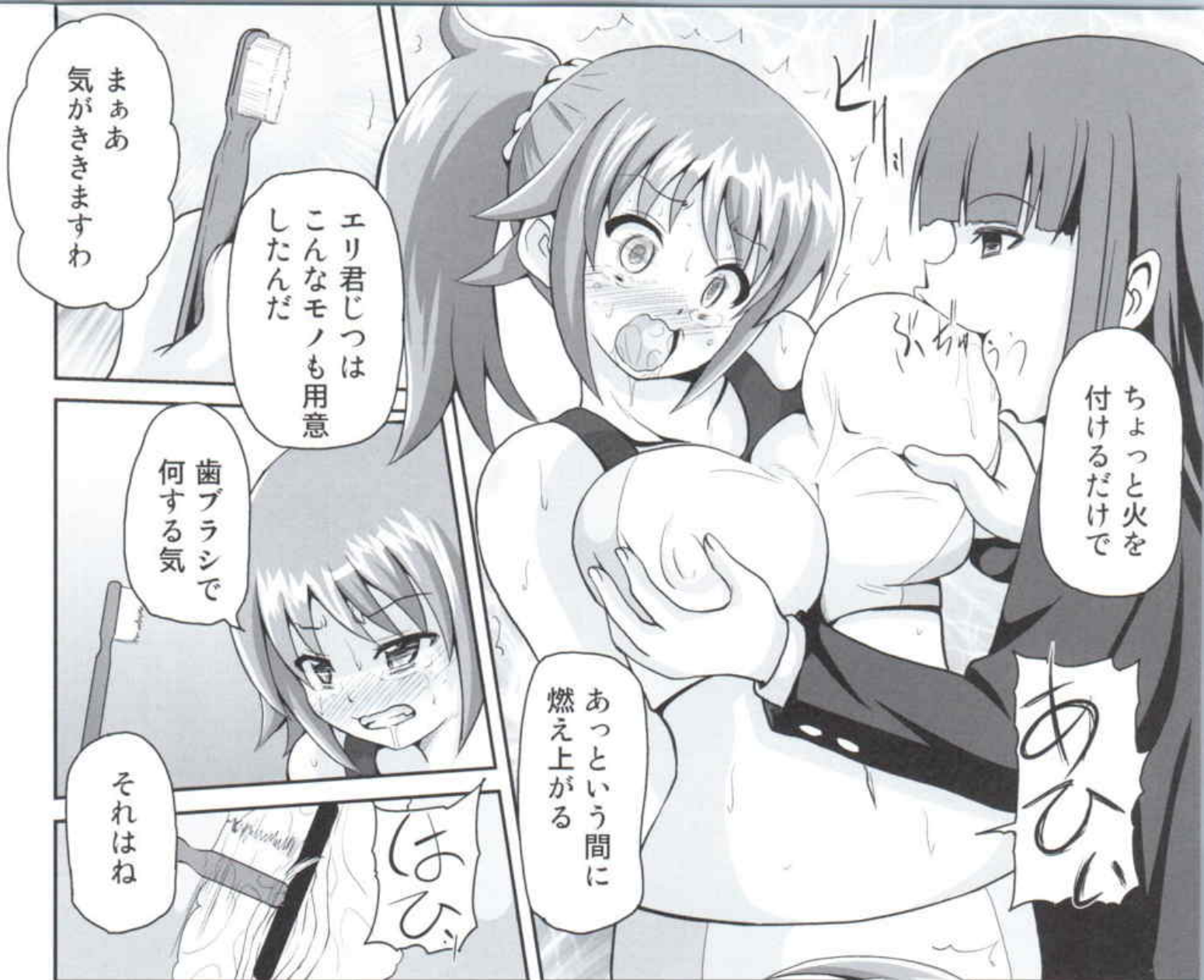
あんたら  
人の話を  
聞きなさいよ

ひッ  
冷たい

なッなに  
してんのよ







まああ  
気がききますわ

エリ君じつは  
こんなモノも用意  
したんだ

ちよっと火を  
付けるだけで

歯ブラシで  
何する気

あつという間に  
燃え上がる

あひい

それはね



こうやって  
クリトリスを  
シゴいてあげ  
るのさ

いぎやあああ

あひい





どうです  
気に入って  
貰えましたか？

はひい

はひい

はひい

ぶっやぶっ



フフフ  
よっぽど  
良かったみたい

い：いや  
あんなのダメエ

怖がらなくて  
いいんですよ私と  
部長でめくるめく  
快感の世界に

フミナさんをお連れしますから



なッ！



そう私が部長  
いいえご主人様に  
して貰ったように





ほら  
ご主人様のおかげでエリは  
こんな立派なメス豚奴隷に  
なれたんですよ

たら  
たら



エリは  
キミ大好きなポアン

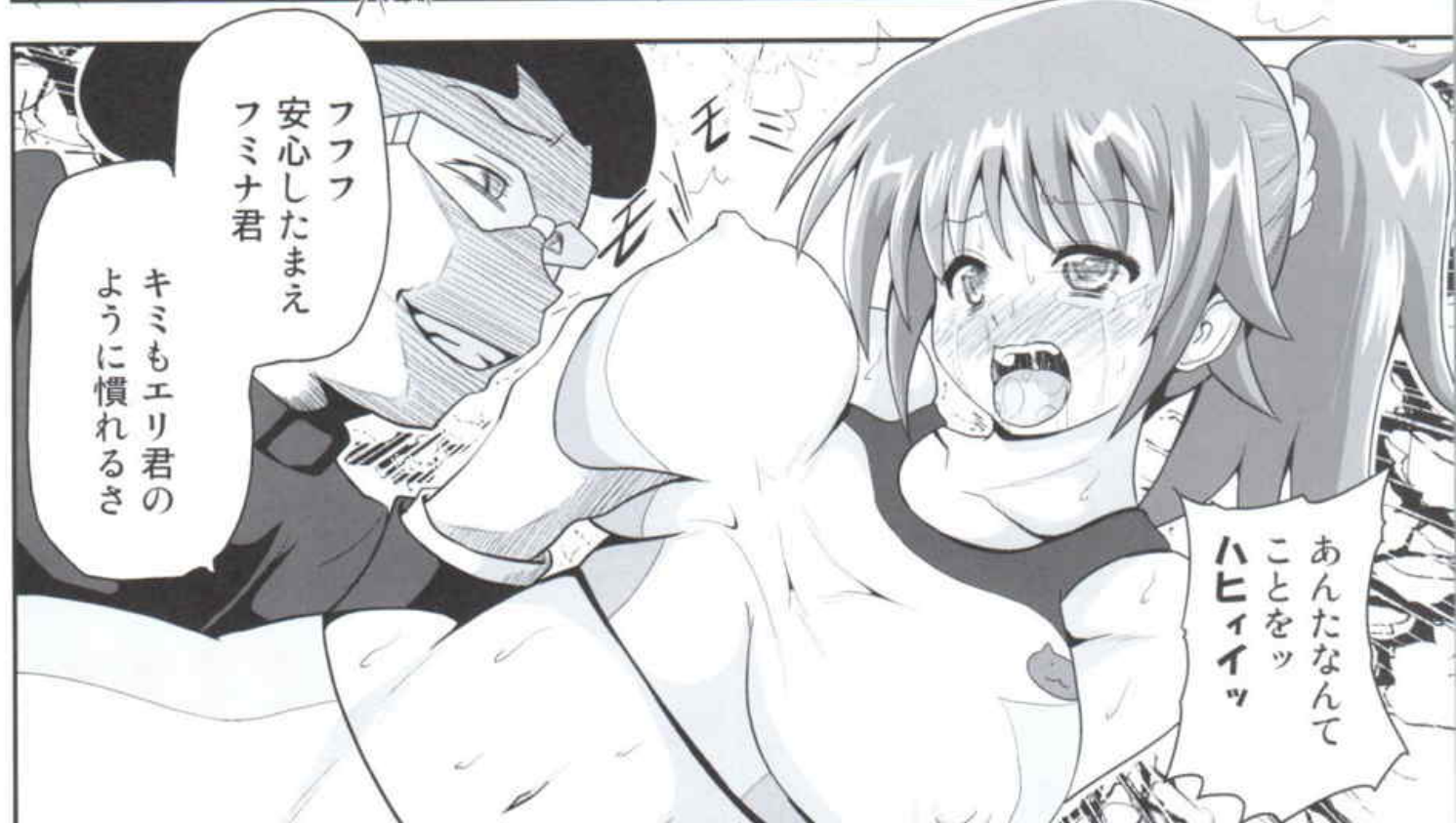
お尻に  
つけて

豚

隷奴

ゴゴゴ  
ゴゴゴ  
ゴゴゴ

あんた  
副部長さんを



フッフ  
安心したまえ  
フミナ君

キミもエリ君の  
ように慣れるさ

モ  
モ

あんたなんて  
ことをツ  
ハヒイイッ



エリも最初は  
ご主人様の  
お手を散々わずらわ  
せましたが

今はこの通り  
従順なメス豚奴隷  
ですわ

ご主人様の超テクで  
絶頂イキしまくれば  
きつとフミナさんも  
わかるわ

絶頂いっなりなんて  
しない

うっ

私はメス豚  
奴隷なんか  
にならない

ボクの超絶  
テクを食らって  
いつまでそんな  
こと言ったら  
れるかな？

そうだね  
どうせ10秒  
も我慢  
できないのに

ご主人様おバカ  
が強がって  
ますわ



はひいいい

フッフほら  
簡単に絶頂  
しちゃた

バカねえやせ我慢  
なんてするから  
快樂がより大きく  
なっちゃうのよ

まあその方が  
早くメス豚奴隷に  
なれるから  
いいけどね

やだ離して  
いやあああ

ではご主人様  
ウレウレの初物を  
どうぞ召し上がって  
下さいませ

ぱ

あ





あんたら二人とも  
言いつけてやる  
こんなことしたら  
牢屋行きよ

無駄な  
抵抗だよ



キミはいき過ぎで  
力が入らないだろ

素直にボクへ  
パーজনを  
捧げたまえ

今なら  
まだ許して  
あげるから



フミナ君の  
処女マンコは  
ボクのものだ







さああ  
記念すべき  
第一発だ

しっかり中に  
射<sup>だ</sup>して種付け  
してやるからな

なかだ  
中射し  
いやああ

抜いて  
抜きなさいよ

いやああああ  
中射<sup>で</sup>てる赤ちゃんできちやうよ  
抜いてお願いだから

まだご主人様  
の愛がわかり  
ませんか

なら気持ち  
良くなれる  
ように

ドム  
ドム

ドム  
ドム



燃料をたっぷり  
あげましょうね

いやあめめ

それらめめ

気持ち良くなっ  
ちゃう頭おかひく  
なっちゃう

あひん

あひん  
あひん  
あひん



ズボズボ

媚薬のおかげで  
ボクも熱くなって  
きましたよ

じゅんじゅん



いやッあああ

このまま  
フミナ君を  
ボクの虜に  
して  
あげるからね

じゅんじゅん

ズボズボ



はひいいい  
体熱くて  
頭が飛んじゃう



ボクなしじゃ  
生きていけな  
淫乱な身体に  
仕上げましょう

またデマ



中で射ている  
熱いのがドボドボ  
注入しゃれてるっう

これからも  
愛しまくって  
あげるからね  
フミナ君

キミを  
逃がさない

ドボドボ  
ウウウ



もっともっと  
フミナの  
グジョグジョ  
淫乱マンコに

おちんぼ  
突っ込んで

ドボドボ  
中射ししへえ  
下しゃい

毎日フミナの  
オマンコで  
遊びたいなら

フラモ部に  
入ってええ

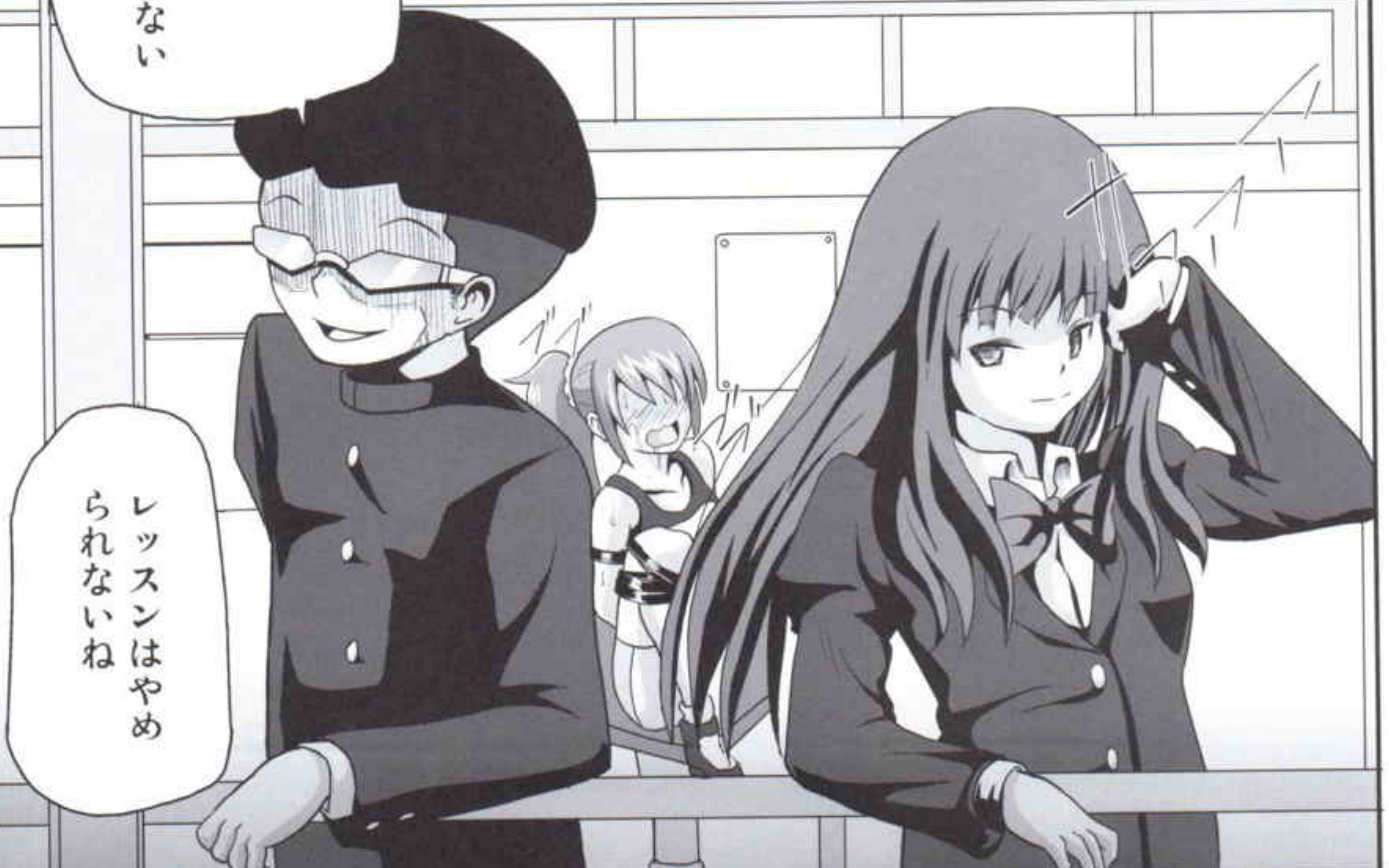
ううくん  
だめだめ

哀しいね

まだ心から  
言えないなんて

そんな棒読みの  
心がこもってない  
言い方じゃ  
部員はゲットできない

レッスンはやめ  
られないね





あひいい  
もう許して

勧誘でもなん  
でもすうらから  
極太バイブ  
止めへえ

フッフ  
本当にフミナさんは  
物覚えが悪いのね

そう言うなよ  
エリ君

夜はまだまだ  
これから  
なんだから

ゆっくり  
覚えて  
くれればいい









あとがき

この度はSlaveSelling4 Fumina のご購入ありがとうございました。

さて今回はいつもと大きく違う点がございませう。黒モノの作品を見ている方ならすぐに気づかれたと思います。

トーン処理がまったく違うという大きな違和感。

今回はいつもトーン処理をお願いしている方が、年末で忙しいということで久々に紅玉が全部トーンを仕上げました。

いつもは調整程度にしかやらないトーンを自分でやるのは、大変でありながらも楽しいで経験ありました。

こうした方が自分好みだったんだなあとか、髪ハイライトが最後になってようやく想像通りになり、1pからやり直したりといろいろ忙しかったです。

さてさて、フミナ本を描くにあたっていろいろ迷ったのは責め役を誰にするかという問題でした。

アニメを見た瞬間に部長が良いキャラしてるから、絶対にこの人だと心に決めたのですが、考えてみると陵辱ネタで描く他サークルも絶対に部長責め役なんだろうなあ、なんか皆と同じネタっていうのもつまらないぞと悩みました。

しかしそれでも、部長さんのキャラは超がつくほど良いです。責めキャラとしてこんなに適任な方はいませんそこで、エリさんとのバカップル責めという苦肉の策で今回は描くことにしました。

最初はこのネタで陵辱、鬼畜にもっていけるのかと頭を抱えていたんですがまあ、悪くない仕上がりになったんじゃないかと自分では思っています。どうだったかな？

ではではまた、お目にかかれることを祈って

紅玉

発行日 2014 12 31

発行 黒いモノ

印刷 大陽出版様

連絡先

akadamatenpo@yahoo.co.jp

http://b.dlsite.net/RG15308/

[注意]

この物語はフィクションです。実在の人物・団体・事件とは一切関係ありません。本書籍は成人向けのため、18歳未満の方への配布はお断りさせていただきます。

また本作中で描かれる行為は、正しい性行為ではなく、犯罪です。絶対に真似しないで下さい。





黒いモノ

成人向け書籍